

平成24年度青少年心理アドバイザー登録一覧表

番号	氏名	生年	自宅住所	資格、所属等	応じやすい曜日等 午前・午後・夕方	抱負・得意分野等
1	おおの まさえ 大野 証江	S22	土浦市	臨床心理士	火・夕方 水・1日 木・夕方 金・1日 土・1日	県西・県南の小・中・高校のスクールカウンセラーとしての経験や大学での教鞭の経験から学んだものをお伝えできたらと考えております。
2	よしむら ひさし 吉村 尚	S15	水戸市	日本学校教育相談学会認定 学校カウンセラー・いはらき 思春期保健協会事務局長	金・1日 ※1か月前であれば、曜日・時間の制限はありません。	○青少年の理解や傾聴訓練（人間関係づくりの支援） ○家庭教育や子どもをとりまく家庭問題への支援 ○反社会的な問題行動への対応 ○演習ではロールプレイなども取り入れた研修も可能である。
3	すずき ひろこ 鈴木 宏子	S20	高萩市	臨床心理士・ 学校心理士・ 茨城県スクールカウンセラー	月・1日 金・1日 土・1日 日・1日	問題行動を呈している青少年の方々とお会いしています。彼らの周囲に対して「理解して欲しい」と「理解してほしい」の葛藤に揺れ、苦悩している姿にいとおしさを感じています。その寂しさを言語化できない様子に歯がゆさも感じております。 自立して生き抜いていくためには、自己肯定感が欠かせません。その自己肯定感を育てる環境づくり、心情を言語表現できるスキルトレーニング、エンカウンターやロールプレイ等、いろいろな手法で共にサポートさせていただけたらと考えています。
4	やまぐち とよかづ 山口 豊一	S28	鉾田市	臨床心理士・ 学校心理士・ 上級教育カウンセラー・跡見学園女子大学教授	金・1日 土・夕方 日・前後	臨床心理学の理論と技法を基に、青少年の内面（心）の理解とサポート方法を探っていけたらと考えています。その際、二つの視点があります。第一に、青少年の発達課題の達成状況です。特に青少年は「青年期」の時期であり、情緒的に不安定ですが、「アイデンティティの確立」という重要な発達課題に取り組んでいます。第二に、教師・保護者・地域社会がチームとなり、サポートすることです。チームサポートについては『寅さん・ハマちゃん』から考えたいと思います。
5	あべ せいいち 阿部 誠一	S40	一	・カウンセリング任意団体認定 カウンセラー2級・NPO法人 茨城教育ネットワーク カウンセラー ・鹿嶋市教育委員会 鹿嶋師範塾講師 ・茨城県私学協会 私立学校カウンセラー ・鹿嶋市教育行政 評価委員 ・NPO法人 雇用人材協会登録講師	金・午前 土・1日 日・1日 ※1か月前であれば、曜日・時間の制限はありません。	○青少年に対しては①知識・情報・技術等を「教える」ことにより導く②個々の思い・悩み・ストレス等を引き出すことにより向き合う、という2つの相反する対応が必要です。 ○家庭の教育力が低下した現在、そういう機会・場所は限られており、①②の両方に対応できる人材の不足・社会体制の不備を感じておりました。 ○私は左記の活動等を通して、「自己肯定感」育成を自らのライフワークに位置付け、努力してきました。 ○対処療法だけでなく、「自己肯定感」育成を目的とする子育て・教育講演会や思春期保健講座講師等の予防療法にも参画。
6	うちこし みのる 打越 實	S26	水戸市	臨床心理士	月・午後 水・1日 木・前後 土・1日 日・1日	社会構造、生活状況が変化し、児童、生徒や青少年の人々が生きにくい環境になっています。成長しても自分が自分として生きぬく（社会適応力）が十分に身につかず、「うつ」になり仕事が続かず、ニートになる青年が多いです。これらの人々のサポートや支援、地域や家族の支援を大切にしたいと考えています。 得意分野:発達障害臨床心理学、発達心理学、臨床心理学、応用行動分析、認知行動療法、青少年心理学

平成24年度青少年心理アドバイザー登録一覧表

番号	氏名	生年	自宅住所	資格、所属等	応じやすい曜日等 午前・午後・夕方	抱負・得意分野等
7	さとう みよこ 佐藤 みよ子	S45	一	臨床心理士	月・前後 木・前後 土・前後 上記以外でも対応できる場合があります。	教育・福祉・医療など様々な現場で、お子さんや保護者の方々、その関係者（例えば、保育者や教師など）を対象とした支援活動を行ってきました。その中で「1人のカウンセラーが支援できる人の人数には限界がある。しかし、親や教師を支援できれば支援の可能性はぐんと広がっていく」と強く感じるようになりました。研修会では、体験学習を取り入れることで、参加者が自ら感じ、気づき、理解し、そして行動できるように意識しています。 発達や心の問題を通して、「子ども」はもちろんのこと、子どもを取り巻く人々も生き生きとした時間を過ごせるような支援活動を行いたいと考えています。
8	おごせ とおる 生越 達	S35	水戸市	茨城大学教育学部教授・茨城県スクールカウンセラー	月・夕方 水・1日 木・夕方 金・夕方 土・1日 日・1日	現代の子どもたちは、難しい社会に生きているように思います。そして、子どもたちを学校・家庭・地域で力を合わせて支えていく必要があるように感じています。子どもたちの問題を一緒に考えることにより、私たちに出来ることや、さらにはこれからの社会の進むべき方向性についても探っていくことができれば、と思っています。
9	かなざわ こういちろう 金澤 浩一郎	S35	水戸市	臨床心理士・茨城県スクールカウンセラー	月・1日 水・1日 金・1日	元茨城県立高校教諭。現在は精神科心療内科の病院心理士及び小、中、高校のスクールカウンセラーをしています。最近は病院でも学校でも、発達障害の診断がついていたり、その疑いがある人たちについて、相談を受ける機会が多くあります。不登校、ひきこもりをはじめとして、思春期青年期に多発する症状や問題行動（と言われるもの）に関心を持ち、その心理的治療（教育、成長）に関わってきました。子どもから大人まで、話しだけではなく、夢や絵などのイメージを使って、カウンセリングを行っています。これらの経験をいかしながら、できるだけニーズに応えられるように、お役にたてればと思います。
10	ふじわら えみこ 藤原 恵美子	一	東京都葛飾区	臨床心理士	曜日等はお相談ください。	大学院にて、幼児期にソーシャルスキルトレーニングを行う効果の研究をして論文を書きました。現在、学校現場での様々な問題の一つとして、子どもたちの対人関係の未熟さに起因すると感じられることが多々あります。私は、カウンセリングアドバイザーとして、この問題の一助となるように、ソーシャルスキルトレーニングやストレスマネジメント、エンカウンターなどの研修のお手伝いをしたいと思っています。
11	おぬま えみ 小沼 恵美	S49	牛久市	認定心理士・茨城県スクールカウンセラー	曜日等はお相談ください。	現在、県内の公立小中学校と私立高校でスクールカウンセラーをさせて頂いております。多様化している青少年の「こころ」について事例をおりませながら、いろいろな立場の大人がどのようにサポートしていくことが大切か、などを一緒に考えさせて頂ける機会があればありがたいと思います。
12	むかい たかよ 向井 隆代	S38	つくば市	聖心女子大学教授・臨床心理士	大学の休暇時期に限ります。	これまで青年期の発達心理を専門として研究してきた経験と日本とアメリカでの臨床活動経験を青少年の理解に役立てることを目指しています。
13	やまざき こういち 山崎 浩一	S49	高萩市	臨床心理士・茨城県スクールカウンセラー・特別支援教育士（S.E.N.S）	月・夕方 水・夕方	子どもたちや人々が社会や環境の中でどのように生きているのか、どのように生きて行くのか…ということに興味・関心を持って日ごろの活動に取り組んでいます。 子どもたち、保護者の方々、地域の方々、学校の先生方などが遭遇する様々な場面に対し、お手伝いをできれば、と考えています。 具体的な現象やケースについて、どのように見立てて行くか、作戦を考えて行くか、支援や対応をしていくのか…等、共に考えることを大事にしています。 具体的なケース（事例）を通じての研修会などにもぜひ一緒できれば、と思っています。